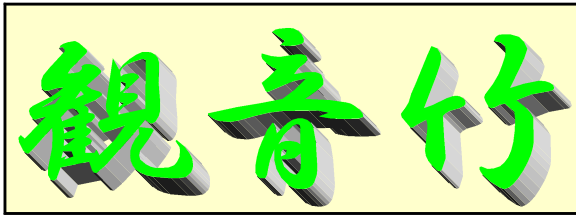


【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】



7月の目標

生活：係や当番の仕事をがんばろう
 保健：暑さをしようずこのきるう(熱中症 汗対策)
 安全：水泳のきまを守って遊んだり、泳いだしう

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

令和3年 7月号
R3. 7. 5発行

みんなで創る八幡小学校

校長 濱元 弘

最近、いろいろな意見や情報が学校に入るようになってきました。とても素晴らしいことです。皆様に感謝しています。○とか×ではなく、「どのように取り組んでいこうか。どのように進んでいこうか。」皆様と考えることがとても重要な時代になってきています。答えのない時代とも言われます。もちろん、いろいろな法律に基づいた上での取組です。ましてや八幡小学校は町立の公立学校です。公立の「公」という文字に大きな意味があると考えています。だからこそ、保護者や地域、子どもたちも含めて、一人一人の意見が大切なのです。みんなの学校ですから。例えば、先月の修学旅行。保護者の深い理解と子どもたちの熱い思いが子どもたち自身が思い描く修学旅行を実現させたのです。自分たちの思いを形にし修学旅行を体験する中で、「対話の重要性」「自由と責任」について深く学んでくれたと思います。

昨年赴任してすぐに、3つの地区から成り立っている八幡小校区をより深く知るために、昭和26年からの学校要覧や屋久町の郷土誌を調べました。どのようにして現在の八幡小学校までたどり着いているのか。学校を経営していく上で必要だと感じたからです。いろいろと興味深いことがわかりました。地区においては、お互いの対話をととても大事にしてきたこと。「八幡小学校」となるまでのこと。学校のシンボルである校章が今と違うこと。校訓が何度か変わっていること(※校訓がこのように変わることは非常に珍しいと思います)。時代の変化と共に変化しながら現在に至っているのだと。

予測困難で変化が激しく、多様性豊かな時代です。この屋久島、そして、八幡小校区は、その最先端ではないかと思えるほどです。私が30年間の経験を振り返っても、これほど多様性豊かな校区はなかったと思います。区長さん方は、それをしっかりと正面で受け止めながら取り組んでおられます。その姿に感銘を受けます。学校は、地域に存在しています。地域があってこそこの学校です。区長さん方の取組を見習い、地域・保護者の方々と共に、先生方そして、八幡小全ての子どもたちと知恵を出し合い、みんなで考えて、八幡小学校を創っていけたらと思います。今年度から、八幡小学校PTAは組織を改革し、一人一人の会員の思いを反映させ、一緒に考えることができる組織を目指し動き出しています。

今、私自身が心掛けているのは、「つながる」ということです。

これは、1年前の学校だよりの冒頭の文章です。改めて昨年の7月号を読み返してみると、さらにその思いが強くなったことを実感しています。機会がありましたら読み返してみてください。そして、一緒に考えていきましょう。



2日(金)学級PTA

6日(火)代表委員会

水泳強化練習

8日(木)水泳強化練習

9日(金)着衣水泳

10日(土)土曜授業

13日(火)水泳強化練習

15日(木)水泳強化練習

20日(火)終業式 大掃除

21日(水)～ 夏休み

